

はじめに

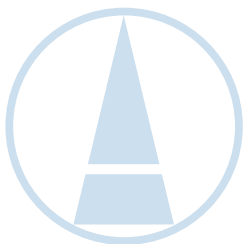
日本の建築士は名称独占、業務独占という2つの「資格独占」を持つきわめて社会的に信頼度の高い、また取得に際して難易度の高い国家資格とされています。本ガイドブックは、こうした各々の建築士（一級建築士、二級建築士、木造建築士）の国家試験に合格され、実務経験をクリアしていよいよ建築士の免許登録をしようとする方々を対象に作成されたものです。

本ガイドブック第1篇では、改正建築士法による実務経験見直しの背景等の説明、実務要件の対象となる「実務内容」についての解説、実務経歴書、実務経歴証明書の作成や記載要領のポイント、免許登録申請等のノウハウなどについて、建築士試験の合格から免許証明書の取得に至るまでの流れを理解するために欠かせない事項等を網羅的、詳細かつ丁寧、また平易に解説しています。

本ガイドブック第2篇では、建築士法を始めとする法制度の適切な理解を基盤として、あらためて建築士資格取得者にとって生涯のキャリアに関わる建築士制度やその業務内容などを確認いただくために「建築士資格とは」、「建築士資格者にできること」、「建築士資格者が従うべき規範」、「建築士資格者の負う責任」、「建築士業務の契約と報酬」、「建築士業務のリスクとリスク管理」、「建築士の資質等の維持向上に向けた自己研鑽の継続」などのテーマについて、資格者としての実務に向けた基礎的事項を出来るだけ分かりやすく解説しています。

このように本ガイドブックは、免許登録に際して必要となる各種手続き等の解説に加えて、免許登録後において特に建築士として設計や工事監理の実務を行っていく上で必須とされる資格者としての心得、業務の内容や適切な業務環境の構築などについてより一層の理解を深めていただくための実践的な解説を網羅して、第1篇、第2篇をあわせて建築士資格に関わる総合的な情報を一冊のガイドブックにまとめて構成しています。各テーマには、業務に欠かすことのできないキーワード、用語解説等も掲載していますので、建築士必携の実務書・用語集としてもぜひご利用ください。

本ガイドブックを建築士資格の免許登録申請にあたり大いにご活用いただくとともに、今後とも継続的に建築士資格者のまさに「礎の書」としていただければ幸いです。



令和7年12月

公益社団法人 日本建築士会連合会

建築士試験合格者セミナーテキスト作成タスクフォース主査

元明治大学大学院客員教授・東京建築士会理事

後藤 伸一